

令和3年6月24日
文教福祉常任委員会資料
健康長寿部長寿生きがい課

令和2年度宇治市小倉デイホームの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

令和 2 年度 事業報告書

令和 3 年 5 月 20 日

施設名	宇治市小倉デイホーム
団体名	社会福祉法人 宇治明星園
代表者名	理事長 中島 研

(1) 業務実施状況報告(令和2年度)

<p>【管理運営の方針】</p> <p>「地域に開かれた、地域に根ざした、地域住民に支えられた施設づくり」(宇治明星園設立理念)を宇治市小倉デイホームの運営方針とします。</p> <p>結果</p> <p>令和2年度の1年間でデイルーム 2,903 人(前年対比:約 36.0%減)、家族介護者教室 1,214 人(前年対比:約 58.2%減)、ボランティアルーム 360 人(前年対比:約 69.1%減)、の利用(延べ人数)があった。また、新型コロナウイルス感染症の影響で人数は減少したが、継続して小倉小学校青少年健全育成協議会の常設活動で子ども茶道教室、地域住民による写経サークル、地域貢献事業(委託事業含む)の介護予防教室(小倉うたごえサロン、小倉げんき塾、みんなの認知症予防教室、きらめき創作教室)、そしてクラブ活動(陶芸、書道、健康麻雀クラブ、絵手紙教室)を継続して行い、地域住民の健康増進の向上に繋げた。</p>
<p>【施設の平等利用の考え方と実施した対策】</p> <p>宇治市在住の60歳以上の方であればどなたでも平等に利用していただき、地域に開かれた施設として運営します。また、それ以外の介護者教室、ボランティアルームなども年齢に関わらず、地域のサークル活動やサロン、民生児童委員会、学区福祉委員会、宇治市立小倉小学校や双葉園保育所などにも幅広く開放します。その他、障害者福祉施設の利用者の就労の場(地域交流の場)としても活用します。</p> <p>実施した対策</p> <p>高齢者福祉施設として、宇治市広報の掲示や地域のお知らせを配布するなど情報発信を行い、また地域のイベントや施設主催の行事(介護予防教室・クラブ活動や、小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会の開催、デイホーム委員会主催)なども地域や関係団体に幅広く広報して利用しやすい環境づくりに努めた。</p>

【施設管理状況】 1. 利用拡大の取組

【令和2年度取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室としては全体的に利用延べ人数（小倉げんき塾：30年度1,485人⇒元年度1,261人⇒2年度245人、みんなの認知症予防ゲーム：30年度190人⇒元年度169人⇒2年度145人、小倉うたごえサロン：30年度560人⇒元年度485人⇒2年度57人）となった。クラブ活動（陶芸、書道、絵手紙クラブ）を開催し、延べ163人（元年度857人）が参加した。また、地域の「写経クラブ」、「高齢者サロン」「認知症の方と家族のつどいの場」「健康麻雀」も継続した利用に繋がっている。その他、デイホーム委員会の行事（春の健康チェック企画「体力測定」）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

【令和元年度取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室としては全体的に利用延べ人数（小倉げんき塾：29年度1,376人⇒30年度1,485人⇒元年度1,261人みんなの認知症予防ゲーム：29年度277人⇒30年度190人⇒元年度169人、小倉うたごえサロン：29年度642人⇒30年度560人⇒元年度485人、きらめき創作教室29年度50人⇒30年度37人、元年度⇒26人）となった。クラブ活動（陶芸、書道、健康麻雀クラブ、ちぎり絵教室、絵手紙クラブ）を開催し、延べ857人（30年度787人）が参加した。また、地域の「写経クラブ」、「パソコン教室」も継続した利用に繋がっており安定している。その他、デイホーム委員会の行事（春の健康チェック企画「体力測定」）を行った。

【施設管理状況】 2. 広報実施

広報結果

各自治体、教育機関、福祉施設からの見学を随時受付、日本初の小学校の高齢者福祉施設の転用例を発信した。また、社会福祉法人宇治明星園の広報活動ともリンクし、宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターと連携しながら、地域の福祉拠点並びに福祉相談窓口としての情報発信も行った。その他、小倉小学校、小倉双葉園保育所だけでなく施設の機関紙やパンフ（イベントや行事企画等）を地域や関係団体に配布して広報を行った。

【施設管理状況】 3. 職員配置

センター長 1名（宇治市小倉デイサービスセンター長兼任）

受付及び管理職員 14名（宇治市小倉デイサービスセンター職員兼任、宇治市小倉介護サービスセンター一介護支援専門員兼任、北宇治地域包括支援センター職員兼任）

浴室清掃・営繕 3名（宇治市小倉デイサービスセンター運転手兼任）

その他、すべての小倉明星園スタッフでデイホーム利用者への対応を行っている。

<p>【施設管理状況】 4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携</p> <p>連携結果</p> <p>健康麻雀クラブ（月・水午後）伊勢田元気会（第1、水午前）写経クラブ（金午前）スリッパの会（第1、3、4土）、介護予防教室（小倉うたごえサロン（第1木曜日）、小倉げんき塾（第2木曜日）、みんなの認知症予防教室（第4木曜日））、クラブ活動（陶芸クラブ（第1火曜日）、書道クラブ（第2火曜日）、絵手紙クラブ（第4火曜日））などに施設を開放。その他、地域のボランティア団体や小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会にも地域交流の場として施設を開放した。（いずれも新型コロナウイルス感染予防対策として中止期間や自粛期間あり。）</p>
<p>【施設管理状況】 5. トラブル対応、防犯、防災対策</p> <p>対策状況</p> <p>トラブル対応として、デイホーム委員会が中心となりデイホーム利用者による館内の利用時間の遵守及びマナーについて検討を図り、館内ルールを遵守していただくよう声掛け（説明）や館内掲示を行った。防犯については、業者委託による機械警備（夜間）と職員による館内防犯点検（目視による巡視）を行った。また、小倉小学校の敷地内であることから日中はスクールサポーター（配置時）が常時見守りを実施している。防災対策については、年3回館内利用者・職員を含めた避難訓練を実施して防災意識を高めている。</p>
<p>【施設管理状況】 6. 利用者要望の把握状況及び実施策</p> <p>把握状況及び実施策</p> <p>日常的に宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターの職員が利用者の要望等の対応にあたるとともに、デイホーム委員会が中心に実態の把握を行った。また、これまでと同様に個別の相談（介護に関する悩み、利用者同士のトラブル）にも適切に対応した。その他、毎年年度末にアンケートを実施して、要望の把握に努めている。</p>
<p>【サービス向上取組内容】</p> <p>【令和2年度取組結果】</p> <p>皆さんに参加してもらいやすいイベントとして、昨年度行った春の健康チェックは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、年末には全館大掃除にデイホームの利用者にも呼びかけを行い、職員と一緒に掃除を行った。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を中止した期間あり）のべ447名の参加があった。また、クラブ活動（陶芸・書道・健康麻雀・絵手紙）開催し地域住民のニーズに応えるべく取組んだ。</p> <p>【令和元年度取組結果】</p> <p>皆さんに参加してもらいやすいイベントとして、昨年度に続き春の健康チェックを行った。又、年末には、全館大掃除にデイホームの利用者にも呼びかけを行い、職員と一緒に掃除を行った。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、（2月末より新型コロナウイルス感染症拡大防止の為開催を中止）のべ1,941名の参加があった。また、クラブ活動（陶芸・書道・健康麻雀クラブ・ちぎり絵、絵手紙）を開催し地域住民のニーズに応えるべく取組んだ。</p>

【管理経費縮減の具体策と結果】**【令和2年度の実績】**

エアコンを使用する際は、温度設定を高く（低く）することなくエコな温度設定で過ごしていただくようお知らせの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努めた）。

令和元年度から令和2年度の経費（光熱水費）実績

		令和元年度	令和2年度	前年度比（%）
電気	千円	295	264	89.5
ガス	千円	895	665	74.3
水道	千円	1,050	832	79.2
合計	千円	2,240	1,761	78.6

【令和元年度の実績】

エアコンを使用する際は、温度設定を高く（低く）することなくエコな温度設定で過ごしていただくようお知らせの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努めた）。また、全館空調工事を行って頂き、温度設定等事務所にて一括管理となった為、消し忘れ等の防止につながった。

【管理能力】職員研修計画と実施状況

職員研修計画

併設の宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターにおける介護・福祉関係及び施設管理に関する研修に参加する。

実施状況

人権啓発研修や感染症対策研修など外部研修に参加して職員の管理能力を高めた。避難訓練については、今年度は年3回（うち1回は小学校との合同訓練）実施した。

【個人情報保護措置と実施状況】

保護措置

個人情報保護の観点から、利用ごとに利用許可証の提示は求めず、利用人数の把握のみ努める。初回の利用許可証発行時のみ基本情報を記入してもらい適切に管理を行う。

ただし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、利用者の把握を徹底した。

実施状況

個人情報保護の観点から、利用ごとに利用証の提示は求めず、利用人数の把握のみに努め、初回の利用証発行時のみ氏名、住所、年齢等の基本情報を「宇治市デイホーム利用証交付申請書」に記入してもらい、施錠可能なデスクに保管、管理した。ただし、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染

症拡大防止策として、利用者の把握を徹底した。

また、当法人の定める「指定管理者個人情報管理規程」に基づき適切な措置を講じた。

【情報公開対応と実施状況】

対応

当法人の定める「指定管理者個人情報管理規程」に基づき適切な措置を講じる。

実施状況

令和2年度における情報公開実施事例はなかった。

【その他】

- ・ 令和2年4月10日から5月31日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設休館
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者の減少がみられた。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染対策として、遮蔽板や手指用アルコールを設置するとともに、利用後の備品のアルコール消毒を徹底した。
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者の把握を徹底し、感染者が出た場合は、同じ時間帯に利用された方と連絡が取れるようにした。

(2) 施設利用状況報告(令和2年度)

【施設利用状況】 1. 入館者数

令和元年度から令和2年度の入館者数

区分	令和元年度	令和2年度	前年度比 (%)
デイルーム 利用者	4,539	2,903	64.0
浴室 利用者数	1,152	0	0.0
ボランティアルーム	1,164	360	30.9
家族介護者 教室	2,901	1,214	41.8
合計	9,756	4,477	45.9

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、浴室休止

【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和元年度から令和2年度の貸館状況

区分	件数 人数	令和元年度	令和2年度	前年度比 (%)
ボランティアルーム	件数	223	77	34.5
	人数	1,164	360	30.9
家族介護者 教室	件数	102	109	106.9
	人数	2,901	1,214	41.8
合計	件数	325	186	57.2
	人数	4,065	1,574	38.7

(3) 管理経費収支計画(令和2年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市小倉デイホーム			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	4,284	3,561	指定管理料	3,561
	その他	0	0		
収入合計(A)		4,284	3,561		
支出	人件費	1,382	1,382	管理人賃金・法定福利費	
	事務費	63	10	消耗品費	10
	管理費	2,839	2,169	光熱水費 委託料 修繕料	1,761 408 0
	事業費	0	0		
	その他	0	0		
支出合計(B)		4,284	3,561		
収支(A) - (B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)
内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

(4) - 1 事業実施計画(令和2年度)

※事業=公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
		

